

自転車ツーリング ~ 信州編 (後編)

GWに自転車で5日間のツーリングに出かけてきました。前編で糸魚川から白馬を経て松本までを紹介したので、後編では松本からゴールまでを紹介します。

自転車ツーリングルートマップ

新潟県糸魚川 ~ 静岡県天竜市



美しい街～松本

人口約20万人、長野県第2の都市。

松本と言えば、松本城。黒い天守閣は国宝です(国宝の天守は松本、姫路、彦根、犬山だけ)。立派で美しいお城です。



周りは公園で、北アルプスの山並も見えて絶景です。風景に広がりがある心地よい空間です。

近くの川沿いに「縄手通り商店街」という、昔の雰囲気を残して改装された、石畳が美しい商店街があります。建物は川側もきれいです。



伊勢町通りには歩道にせせらぎや多くのモニュメントがあります。松本は自然石が多く使われ、照明やサインもスッキリしており、美しい印象の街でした。



峠越え

松本を出て塩尻を過ぎると、いよいよ峠越え。塩尻峠は国道で交通量が多いため、近くの県道の勝弦峠を越えます。標高約1000mですが、300m程登るだけです。急勾配でなければ、意外と楽に登れます。

山上付近からは諏訪湖が一望、坂を下る爽快感と合わせて、登って来て良かったと感じる瞬間です。



御柱祭

今年は7年に1度の御柱祭です。重さ10t以上もの大木を引き出し、4つの宮（上社の本宮と前宮、下社の春宮と秋宮）の社の四隅に計16本建てます。

大木に跨って急斜面を下る命懸けの「木落とし」は有名です。GWは祭の真っ最中、神社ではクレーン車で御柱を建てる準備がされ、御柱が通る沿道には栈敷席や飾りが設けられ、町は祭一色でした。今度は祭を見に来たいものです。



諏訪湖を一周して、諏訪湖から流れ出る天竜川を太平洋目指して下ります。3日目は駒ヶ根市まで。大学時代に合宿免許で来た思い出の場所でもあります。自動車学校、まだありました。近くの河原やボーリング場が懐かしかったです。

りんご並木

飯田市中心街は、交差する広幅員の防火帯道路で4分割された構造をしています。りんご並木はこの防火帯道路の真ん中の緑地帯に後から植えられたものです。遊歩道として整備されています。中央分離帯の中ですが、両側の道路の交通量が少ないためくつろげます。リンゴの季節でなかったのがちょっと残念。



天竜峡

飯田市の最南端の天竜峡、ダイナミックな景色の渓谷です。舟下りもできます。非常に険しいため川沿いに道がなく、川から大きく離れることになるのですが、高低差で2,3百mも登らされました。予想外の負担は精神的にこたえます。

15km程で川沿いに戻り、その後40kmぐらいは川沿いのクネクネ道を快調に走ることができました。車も来ず、稀に見る快適なルートでした。



佐久間ダム

昭和28年に着工、3年強という驚異的な早さで昭和31年に完成した日本最大級のシンボリックなダム。アメリカの技術や土木機械が導入されました。完成当初は巨大ダムを一目見ようと、多くの人が足を運んだそうです。

近くのトンネルから途中で分岐して、展望台へ。大きくて写真に収まりませんでした。



ゴール

最終日、今にも降り出しそうです。そして出発後、無情にも…。鉄道の無い区間だったので、2時間ほど雨中を走って、天竜浜名湖鉄道の天竜二股駅でゴールして帰ることにしました。

雪山の景色から始まって、城、湖、温泉、祭、渓谷など、見所の多いルートでした。車でも楽しめるお勤めのコースです。太平洋までの残り30kmぐらいは、またいつの日か走ろうと思います。

